

(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230 いちご薬局 TEL055(946)6430

貧血の分類

貧血とは赤血球に含まれる、酸素を運ぶヘモグロビンの量が少なくなっている状態をいいます。このヘモグロビンが足りなくなることによって酸素が全身に十分に行き渡らなくなり、疲れやすい・立ちくらみ・動悸・息切れなどの症状が出てきます。



貧血が引き起こされる原因は1つではありません。今回はその原因や赤血球の状態などにより分類されている様々な貧血について紹介します。

みなさんは病院でもらう検査項目の中に、MCV や MCHC という見慣れない項目があるのをご存知でしょうか。実はこれらの値から貧血の種類がわかるのです。

赤血球の大きさ (MCV) は約 $8\mu\text{m}$ が正常ですが、このサイズが大きかったり小さかったりした場合、様々な貧血症状が現れます。また、血液中のヘモグロビン濃度 (MCHC) が低くなる時も貧血が起こるのです。貧血はこの MCV と MCHC を用いて大きく3つに分類できます。

赤血球サイズ			
分類	小球性低色素性貧血	正球性正色素性貧血	大球性正色素性貧血
MCV (fL)	80 以下	81~100 (正常値)	101 以上
MCHC (%)	30 以下	31~35 (正常値)	31~35 (正常値)
貧血の種類	鉄欠乏性貧血 慢性疾患による貧血 鉄芽球性貧血	溶血性貧血 出血性貧血 腎性貧血	巨赤芽球性貧血
		再生不良性貧血 骨髄異形成症候群	

次に、分類されたそれぞれの貧血について見ていきましょう。

【小球性低色素性貧血】

◇◆鉄欠乏性貧血◆◇

貧血の症状が出ている人の約 70%がこの貧血です。一般的な貧血症状に加えて、爪がスプーン状になったり、口角炎、舌炎などがみられたりすることがあります。鉄剤の服用などで改善します。鉄分の多いバランスのとれた食事をとることを心がけるとよいでしょう。

◇◆慢性疾患による貧血◇◆

がんやリウマチ、慢性感染症などいろいろな病気が原因で引き起こされる貧血です。この場合、原因となっている疾患の治療が優先されます。



◇◆鉄芽球性貧血◇◆

遺伝性が多く、日本人ではまれな疾患です。

【正球性正色素性貧血】

◇◆溶血性貧血◇◆

赤血球の寿命が短くなり、体内の赤血球の数が減少することで起こる貧血です。皮膚や眼球が黄色っぽくなったり、尿の色が濃くなったりします。

◇◆出血性貧血◇◆

出血により起こる貧血です。消化管出血などが無いかを検査します。

◇◆腎性貧血◇◆

腎機能の低下により、腎臓で作られるエリスロポエチンというホルモンの産生が低下し、赤血球が作られにくくなります。エリスロポエチン製剤の投与が必要です。

◇◆再生不良性貧血◇◆

年間の発生数が、人口 100 万人あたり約 6 人のまれな病気です。骨髄で赤血球や白血球が作られにくくなる病気です。

【大球性正色素性貧血】

◇◆巨赤芽球性貧血◇◆

ビタミン B₁₂ や葉酸の摂取不足・吸収障害が原因で起こる貧血です。ビタミン B₁₂ 欠乏により、しびれが出たりすることがあります。胃を全摘した人はビタミン B₁₂ を吸収できないので、このタイプの貧血になりやすくなります。ビタミン B₁₂ や葉酸を補う治療を受けます。

ここで紹介させていただいたのは貧血の種類の一部です。貧血はありがちな病気と思われがちですが実は油断のできない病気です。早急な対処が必要なものもあります。貧血の症状や、検査値で異常がでた場合には、病院で適切な診断を受け、原因や種類について把握し、そのうえで治療や食事指導を受けることが体にとって大事なことです。

